

みんなの ライフスキルタイムズ

ときどき発行 No.15 (2022.4.18)
特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-21-1-3F
TEL 050-1742-4922 MAIL info@jiyd.org
https://lionsquest-japan.org/

新年度は



ライフスキルで スタート!

新年度、新しいクラスに新しい友だち、新しい先生。何かと新しいことがたくさんあります。ウキウキすることもあれば、不安でいっぱいなのもあります。知らず知ら

ずのうちにストレスや疲れがたまることも。そんな新年度にも、クラスでも家庭でもライフスキルは大活躍します！認定講師がおススメを紹介します！

第4巻まもなく発行！

子どもたちの 不平不満こそ 学びのエネルギー！

見てわかる
ライフスキル資料集

次号で詳しく
ご紹介します。
お楽しみに！



クラスづくり

新しい環境で、子どもたちは期待に胸を膨らませる一方で、不安も…。新学期は早いうちに何よりも居心地がよいと感じる場所にしていくことが大事です。

そこで、どの学年もワークショップで行う、教材・単元1の活動「お互いを知り合う活動」「ルール合う活動」「役割分担」を行います。



2. グループで、1で考えたことをもとに、ルールを考え出し合う。
3. 全体の合意でルールを決める。

【お互いを知り合う活動】
まずは、自分が呼ばれたい名前をお互いに発表しましょう。

【役割分担】
工夫してできるだけグループを取り入れていきましょう。

次に、ゲームを通して、同じところや違うところを発見したり、新たな一面を発見したりできるようにしていきます。

リーダー・記録係・準備係(道具係)・発表係・時間係等必要に応じて分担して活動しましょう。

【居心地のいい場所にするためのルールづくり】

1. されていやなこと、されてうれしいことを出し合い、全体で確認する。(学年に

これらの活動を通して、楽しくお互いのことを知ることができるようになります。どの子も受け入れられていると感じられると、安心感が生ま

れてくるのではないのでしょうか。

この安心こそが、子どもたちの心を開き、のびのび学習することができ、互いの個性や才能が磨かれていくことにつながっていきます。

教室は、教師という大人が一人です。一人で子どもたちを動かそうとせず、ライフスキルの力で、子どもたちを動かしていきませんか。ライフスキルを身に付けた子どもたちは、教師の想像を超えた力を発揮してくれます。

子どもたちの力を信じて、どんどん子どもたちに任せていきませんか。うまくいったら拍手！うまくいなくても取り組んだことに拍手！

失敗はつきものです。失敗に落胆することなく、そこからまた挑戦すればいいのです。失敗こそが、成長のお宝です。



外川 澄子

学級開きに 「ビーイング！」

学級開きの時に学級目標を決めますが、学級目標は目指す学級の理想的な状態を言語化したものなので、日常の具体的な行動がどのようにつながるのか子どもたちにとつてはわかりにくいことが多いようです。

【1】学級目標を実現するために、大切にしたい行動と、残念な行動（学級で見たくない行動）を一人ひとり考え、小短冊に書き出します。この時「～しない」という

【2】一人ひとりが書き出した理由をそれぞれ話します。

【3】それらをグループごとにまとめ、意味を考え、表現を一つにしていけます。小学校低学年の場合、言葉の概念形成が十分でないので、先生がファシリテートしてまとめます。

【4】模造紙に人型や手形で

囲った円型を描き、大切にしたい行動を人型の内側に、残念な行動を人型の外側に描きます。

【5】教室の見やすいところに掲示し、学級で問題が起こったとき、学校行事の振り返りのときなどにビーイングを使いながら振り返ります。※一人ひとりが考えたものすべて書き出す方法もあります。

【1】学級目標を実現するために、大切にしたい行動と、残念な行動（学級で見たくない行動）を一人ひとり考え、小短冊に書き出します。この時「～しない」という

【2】一人ひとりが書き出した理由をそれぞれ話します。

【3】それらをグループごとにまとめ、意味を考え、表現を一つにしていけます。小学校低学年の場合、言葉の概念形成が十分でないので、先生がファシリテートしてまとめます。

【4】模造紙に人型や手形で

囲った円型を描き、大切にしたい行動を人型の内側に、残念な行動を人型の外側に描きます。

【5】教室の見やすいところに



横田 秀策



家庭のサポート



新学期ですね。ワクワクする気持ちとドキドキする気持ちの両方を感ずる時期ですね。保護者としてどのような働きかけができるでしょうか。

【話を聞いてあげること】「話を聞いてあげること」「十分な睡眠ができるように環境を整えてあげること」「親は味方で、サポーターであると伝えること」がとても大事です。

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

て喋ってもらってください。ここで大事なのが「聞かれていないのに意見を言う」ことをしないことです。「うん、うん、そうなんだ。」

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

て寝る。

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】

【話を聞いてあげること】



佐渡 涼子